



写真:三ツ井正之さん

ぶらりよかける!

早春に「町家の雛めぐり」へ

3月といえば雛まつり。奈良県高取町では、3月いっぱい「町家の雛めぐり」が開催されます。高取町には、昔からの町家が沢山残っていて、街道筋の町家には、それぞれの家で大切にされているお雛様が飾られます。家々の「雛物語」を楽しみながら、ゆっくりと時間を過ごされては如何でしょうか。近くに壺阪寺(壺阪山駅からバスあり)や高取城址があります。

3月15日は、歴史探訪の会のオープン例会で、高取町へもいきます。詳しくは歴史探訪の会のホームページをご覧ください。

アクセス

【電車】近鉄吉野線 壺阪山駅下車 すぐ

【車】西名阪 郡山ICから橿原市を通過して国道169号線を南下(郡山ICから約1時間)

Page Guide

私の今日この頃

8ページ



元気は
趣味・雑用から

井上輝好さん
(No. 1607)

趣味は書道・詩吟・ゴルフ等、地域社会でも多大な奉仕活動で市功労者賞を受賞される等、多岐に亘る活躍！書道は退職後2度目の大学に入学し、書の理論・実習に磨きをかけ、社友会「おもしろ書道」の講師としてもご活躍……

- 2月4日開催の懇話会報告 おもしろセミナーも…… 2ページ
- 支部だより 中部支部の活動状況 3ページ
- 「~のつながりで集う」 色んなジャンルの「創友会」 4ページ
- 同好会と楽しい仲間達 篆刻同好会・雀友会 5ページ
- WE LOVE SHARP 「買ってくださいシャープ製品」 6ページ
- 私の近況短信 新入会員紹介等 7ページ



ひとり言

春はどこからやってくる

春の始まりだ、と云う立春がもう一か月前に過ぎたのに、我が家の庭に葉が一枚もない桜、百日紅、桃、ハナミズキの木が寒風にさらされて立っている。一年の内では一番寒い2月4日頃をどうして立春と云うのだろう！

この日をどうして「春が立つ」と云うのだろう！と不思議に思っていた。「立つ」には、風が立つ、気が立つ、虹が立つ、噂が立つ、弁が立つなど、いろいろな使い方がある。立春の立つには「はじめて姿をあらわす」という意味があるらしい。金田一先生の解釈では今まで存在しなかったもの・一般に神秘的なものが忽然と姿を現すと云う意味が「立つ」にはあるそうだ。

そういえば立春を待ちかねていたように、庭の梅がほころび始めた。厳冬に耐えて数百のつぼみが赤さを増し、もう一本は白さを増して、やがて、はちきれんばかりにふくらんで、ほのかな香りを放ちながら一輪、また一輪と咲いていく。いかにも「春が忽然と姿をあらわした」感じがする。

ある新聞にこんな記事が出ていた。チューリップの球根は夏のうちにつぼみを宿すが、そのまま暖かい中で育てても開花しない。3~4ヶ月低温にさらして初めてつぼみがうずき始める。長い夜を経て、風雪の試練を越えてようやく花は咲くのだ。シャープも厳しい風雪に長く耐えてきた。ここにきて事業のつぼみがうずき始めている。待ちに待った春がそこまで来ている。

春がきたら、思い切り花見を楽しもう。……合掌 HKひでと

Be Original 「シャープ懇話会 2017」開催 平成29年2月4日

今年の懇話会は、新しく社友会が本部を置くことになった、健康・環境システム事業本部の、厚生棟・大食堂で、約 280 名の参加で開催されました。会社からは、野村副社長、スモールアプライアンス事業部の田村部長が出席されました。社友会真会長より、今後の社友会のあり方について、野村副社長からは、鴻海と提携後の成果と、収益状況の説明がありました。



その後、田村部長からおもしろセミナー第2弾として講演があり「健康」をキーワードに、楽しい開発技術が紹介されました。午後からの昼食懇親会は、植田副会長による乾杯発声の後、楽しいひと時を過ごしました。



シャープ社友会
真 会長 挨拶



シャープ株式会社
野村 副社長 挨拶

新しい社友会室を、快速が停車する久宝寺駅から近い当事業本部に確保して頂き感謝しています。

昨年8月、戴社長が着任されて以降、業績が急速に回復しましたが、その辺の状況を野村副社長からお聞きできるのを楽しみにしています。

昨年11月、戴社長にお会いし、社友会の活動内容とともに、シャープの大応援団になるよう頑張っているとお話しました。その結果、社友会向けに格安の商品を提供する謝恩祭が実施され、更に堺に準備中の600人収容のホールで、経営方針説明会をやろう、との提案を頂きました。

社友会は、ここ2~3年、極端に入会者が減っています。会社の業績回復に負けないよう、社友会も会社との連携を深めながら取り組んでいきます。

- ① 新入会員を増やす取り組み施策。
- ② 社内報「mado」復活の要請。
- ③ カルチャー教室の開設等。

いろいろ心配をおかけしました。また多大なご協力に感謝いたしております。

鴻海とは買収ではなく、戦略的提携として、昨年8月に新生シャープがスタートしました。9名の役員の内、シャープは3名で、後は鴻海です。新コーポレート宣言「Be Original」を掲げ、互いの強みを活かしたシナジー効果で、成長軌道へ転換、さらに構造改革から事業拡大へ、事業拡大を加速する「バリューチェーン改革」を推進します。2016年第3四半期は、収益は大きく改善し純損益も黒字化、2016年度通期の業績予想も、上方修正しています。

おもしろセミナー第2弾



「延びる健康寿命！ヘルシオのパワーの秘密に迫る」と題して、スモールアプライアンス事業部 田村部長より講演を頂きました。将来に向けての楽しい技術の紹介がありました。





平田支部長

中部支部の紹介

会員の親睦と健康増進を基軸に活動を展開!!

社友会に統合して8年を迎えますが、当初「早友会」の名称でOB会活動を発足して、会員の親睦と健康増進を基軸に活動を推進し、今年20周年を迎える事となります。

中部支部としては総会で年間計画を立てて活動していますが、八県と広範囲で交通も不便な事もあり、発足当初から、地区毎に地区役員を置き、地区単位で各種同好会活動を展開しており、参加率は65%を確保しています。

(会員数：213名)

()内数値は会員数→	東海地区 (70) 愛知・岐阜・三重	岐阜 (28)	三重 (34)	静岡 (19)	長野 (9)	北陸 (53)
歩こう会	月1回	東海合流	年5回	年5回		年3回
ゴルフ部会	年7回	〃	年6回	年4回	マレットG 毎月1回	年4回
グルメ部会 (食事会)	納涼会、忘年会	年2回				
懇親会 (顔見世会)			年2回	年2回	年1回	年2回
中国語研究会(麻雀同好会)	年6回			年6回		毎月1回
SEK部会	年2回	東海合流	カラオケの匠 年2回			
釣り部会				年8回		
写真同好会			みえだより発行			年2回
旅行会 (一泊)	年1回 (秋)	東海合流	年1回			年1回
社会貢献活動	年1回		年2回			

■ 東海地区「歩こう会」

愛知、三重、岐阜合同で月に一度を目標に活動しています。毎年1月中旬には伊勢神宮への初詣で新年のスタートを切り、テーマを決めてシリーズとして続け、知多、四国88ヶ所巡りを2年に亘り、また織田信長に縁あるお城、城址を25ヶ所、古戦場10ヶ所を巡り、東海4県に加え滋賀県まで隈なく回りました。

2015年5月からは「旧東海道を歩く」シリーズとして、三重県亀山をスタートし、昨年11月には11回目で岡崎から江戸に向け弥次喜多道中を続けています。最終は豊橋市の二川宿の予定で、街道の歴史や文化に触れて楽しんでいます。

元々「歩こう会」は「JRさわやかウォーキング」に相乗りスタート致しました。東海地区各支線の名所を順次訪れ一日楽しくウォーキングしていました。

当初は5~6人の参加で、仲間を増やそうとの意見が出て、JRの企画は土日に限られることもあり、その後「歩こう会」を平日に変更し、現在は毎月第3水曜日に決めスケジュール化をして参加率向上を目指しております。

7月には岐阜県の揖斐川、板取川のアユ料理に舌鼓、他の月はテーマを決め、加えて季節の名所、梅・桜・紅葉等の見頃にタイミングを合わせ花を愛でるウォークを楽しんでいます。

何れも3時頃には終え喫茶店で約1時間程度の情報交換をしながら次回の予定を確認し、コミュニケーションを図りながら参加率の維持を図っています。



伊勢初詣

○北陸地区

現役と合同で親睦を図り情報交換しながら和気あいあいに楽しいゴルフコンペを開催しております。OBもまだまだ現役に負けず毎回競っております。



○静岡地区

発足して間もないですが、ボケ防止、認知症対策として麻雀同好会で脳のトレーニングを行っています。まだ会員は少なく会員募集中です。楽しむ事をモットーにしております。



○長野地区

会員数が少なく、地域が広く同好会の発足が難しい状況にありましたが、幸いこの地域にはマレットゴルフ場が数多く在り、通常のゴルフと同じように楽しめ費用も安い事からスタートしました。冬場を除き月一回開催の予定です。



○三重地区

レベルの高い会員が多く、毎回熾烈な戦いをしております。2カ月に一回のペースで開催しており、その都度戦場(ゴルフコース)を替え緊張しながら真剣勝負をしております。一喜一憂しながらコースを回り最後は和気あいあいでいつも楽しい同好会です。





～のつながりで集う たのしい仲間たち

長い間、一緒に仕事をしてきた職場の仲間は、やはり忘れがたい存在です。昔の同僚と旧交を温めておられる方が沢山います。



創 友 会

北 井 勲 さん
(No. 2724)

宣伝、デザイン部門などのOB会で発足

15年前に宣伝、デザイン部門のOBを軸に関連する人々等同行の志が集まってクリエイティブな創作活動をし、その結果を一般の方々にも見て頂こうという趣旨で発足しました。

取り組んでいるジャンルは幅広く多岐に渡っています。会員一人一人の持つ個性と技能を活かし「書」「油絵」「陶芸」「水彩」「日本画」「造形」「写真」となっていますが、特に境界を意識することなく、もっともっと表現の幅が広がって行けば良いと考えています。

毎年外部の会場を借りて展示会を開催していますが、昨年11月には江之子島文化芸術創造センターで15回目の展示会を開催しました。会員の皆さんが会社を卒業されてからの15回(15年)ですから、日々の精進は尊敬に値するものだと思います。毎回の創友会展は良い節目になって、継続の力になっていることは間違いのない事だと確信しています。

メンバーも入れ替わりながらの15回です。病気や残念ながら亡くなられた会員も居られますが、その度にその人達の分迄、創作活動をする原動力になっているのだと思っています。

創友会やぶにらみ

60歳になって自分は何を求めて日々過ごすのかは大きな課題だと思います。少なからず、創造を続けることは自分自身の活性化もさることながら周囲に大きな影響を与えるものだと思います。

幾つになっても創作の意欲が有る限り、続けなければなりません。その年代相応の独特の感性が有る筈です。それは次の世代に大きな影響を及ぼすものだと考えています。

幾つになっても創作の意欲は絶やす事無く続けられるのです。年齢を重ねることが力になればこれほどの薬は無いですね……

気力は十分なので、後は体力ですね。

創造は無限に出来ますし、歳に関係なく出来ますから、これ程脳に刺激を与えるものは存在しないのではないのでしょうか？創造とは構えるものではなく、暮らしのリズムの中に潜んでいるものだと思います。

「日常の中の創造」は創友会の目標でも有りますし、肩肘張る事無く、しかも楽しく続けられる事ではないのでしょうか？

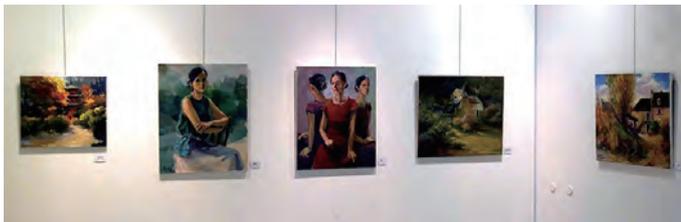
是非創造意欲のお持ちの方が参加して頂ければ、更にその層が広がるのではないかと期待しています。さしたる規約もありませんし、自由参加が基本です。お待ちしております。



「日本画」



「水彩」



「油絵」



「書」



「写真・立体ボタニカル」

私と同好会のたのしい仲間たち

個人の同好会との繋がり・楽しさ・面白さを紹介します。



篆刻同好会

中田 稔さん
(No. 3538)

篆刻クラブの始まり

平成9年3月に本社総務部に筆耕担当としてお世話になり、そこで消しゴムをカッターナイフで削り、印を作っている方と出会いますが「石に文字を刻む篆刻という技を習得して印を作っては！」と誘ってみました。それがキッカケで、週1回業務終了後を稽古日と定め、4名で篆刻の練習を始めました。こうした取り組みが評価され、会社の文体クラブに加えて頂き、活動費も頂けるようになりました。

真面目な取り組みでメキメキ上達

練習を始めるようになって3年も過ぎた頃、メンバーの腕は上達、大きな作品も作れるようになりました。

力試しに大和郡山市の芸術祭展に3名の作品を出展。全員入選の知らせが届いた時は、出展した方以上に喜び、その時の感動は今も忘れることはありません。

メンバーも増えていく中で、各地の芸術祭典で奨励賞・教育長賞・議長賞・市長賞・芸術祭賞と年々上の賞を得るようになり、指導者として何物にも代えがたい喜びを味わうことが出来ました。

そして3年前、社友会の篆刻部がスタート

毎月第2木曜日の午前中に15名ほどのメンバーが集まり、月毎の課題や芸術祭典への作品作りに取り組んでいます。昨年は出展した12名全員が入選、議長賞、2年連続奨励賞獲得、さらに招待作家に昇格するなど輝かしい成果を発揮しています。



篆刻はたとえ1cm角の小さな石であっても、それを印に仕上げる者にとっては、時には広大な平野であり、そこには春の陽光が輝いたり、荒波が押し寄せたり、暴風が吹き荒れていたりします。それらを克服し得た時の達成感はひとしおのものです。



中国文化研究会 (雀友会)

竹本 一男さん
(No. 3291)

人間関係構築に役だった麻雀歴

定年退職と同時に先輩に誘われて雀友会に入会し、早や11年が経過。私が本格的に麻雀を始めたのは昭和47~8年頃(20代後半)です。人事異動で同年代(同僚)がたくさん集まる職場に変わり、当時の上司が麻雀好きでなんとなく誘われたのがきっかけです。その当時はサラリーマンにとって麻雀の全盛時だったと記憶しています。会社近くに雀荘が沢山あり、どこも満員の状況でした。仕事が終わった後は毎日のように雀荘通いが続き、休日も雀荘通いに明け暮れる毎日でした。

又、会社の長期連休にはいつも同僚5~6人で麻雀パイを片手に各地を旅行したものです。それ以降、病みつきになり麻雀歴も50年近くなります。入社以来定年退職するまで転勤も含め職場を8回変わりましたが麻雀は人間関係構築にずいぶん役に立ったと思っています。

麻雀の効用

何をさておいてもボケ防止(脳の活性化・若返り)に繋がります。

①得点を競うゲーム

配られた牌をいかに早く聴牌し上がりに持っていか。高得点を上げるための役作りの楽しみ。

②相手の手を読む

麻雀は4人で行うゲームであり相手3人の出方を伺いながらどのような手で相手は進めているのか、捨て牌や顔色から考え、推理していくこと。

③指先を使う

指の末梢神経を使うことで脳が活発される。最近、麻雀は「脳のトレーニング」「健康目的や社交の場」として高齢者や女性にも広がっています。

雀友会へのお誘い

麻雀好きが毎月50名前後集まり、リラックスした気分で麻雀を楽しんでいます。現在新会員を募集しています。麻雀に興味のある方は老化防止・ストレス解消に是非ご加入ください。因みに雀友会は今年5月で20周年を迎えます。



皆様のご参加をお待ちしております。 役員一同

◆◆ 買ってくださいシャープ製品⑧ ◆◆

～新発売のイチオシ商品をご紹介します～

おすすめ
1

ちょっと思い出せない時の強い味方 登場!

わからないとき、なぞるだけ!

BN-NZ1J

ナゾルとわかる、知らない日本語。

収録項目
約26万5千



ベストセラー文庫本・雑誌・新聞
読書の悩み
スグに解決

ペン型スキャナー辞書
ナゾル

おすすめ
2

いつでも、どこでも 持ち運びにも便利で、心強いツールです!

横書き、縦書きも読み取りできます!

大 直向き 縦書き

燦然

いろいろな文字を読み取り可能

質量
約**86g**
(電池含む)

使用時間
約**30日**
単4形アルカリ乾電池
2本で使用可能

調べた言葉を記憶できる
履歴機能つき
最大**100件**

おすすめ
3

初めての方も、ちょっとコツをつかんで頂ければカンタンにお使い頂けます!

操作はカンタン、3ステップでOKです!



※1 国語モデルは「解」を、英和モデルは「prosperous」をなぞった場合。語句をなぞり終えてから、意味を表示するまでの時間

ナゾルとわかる、知らない日本語。

他にはない、新しいスタイルで、読書の悩み スグに解決します。

ペン型スキャナー辞書(国語モデル)

BN-NZ10J

私の近況短信

あの人は今...会員の皆様からお寄せ頂いた個人の近況をご紹介します。(紹介してほしい人がいれば編集室まで) (2016年12月~2017年1月取材)



飾 義達さん (4618)

自分の自由になる時間を持つてみると何かに没頭する。その没頭するものが好きである事がいかに重要か知る。今の自分には書道がその一つ。又、一日8千歩、その内20分は速く歩く。健康な毎日が続けたいからである。

今田二郎さん (1595)

65歳以降は毎年200日~250日位、近くの高尾山へ散策に出掛けています。四季折々の楽しさがあり年間で10日間位は明石海峡大橋がシャープ堺工場の西側に見ることが出来ます。

糸川眞一さん (3246)

定年後は健康で中田東光先生のご指導で始めた篆刻も日本篆刻家協会会員となり大和郡山市芸術祭議長・教育長賞も受け今後も精進します。日常は自治会長 他の地域活動や孫の相手でも忙な日々を過ごしています。

南野正夫さん (434)

趣味の尺八を続けて七年、まだまだ駆け出しですが月例会練習と老人ホームへのボランティア活動に注力しています。65歳の現役終了からの20年間は瞬間でしたがパソコン、ビデオ同好会には今も所属中です。ゴルフや太極拳でもお世話になりました。お陰で心身共に健康で楽しい老後を送れ、感謝 感謝です。

川本正明さん (3965)

シャープと地元クラブでバトミントンに取組み昨年は15試合の大会に出場して体力維持に頑張っています。更にSSフォトクラブに入会し夫婦で景勝地を訪ねて撮影と美味しい料理を楽しんでいます。

神田和一さん (1479)

定年退職後、写真教室に入会し技術と新しい仲間を得ました。以来17年、現在は地元のクラブとSSフォトにて写真を楽しんでいます。一方、地域の皆さんとは週2回のグランドゴルフで健康維持に努めています。

平方秀行さん (6286)

退職後、堺の観光ボランティアをやっています。世界遺産登録を目指す仁徳天皇陵古墳、千利休と与謝野晶子の「利晶の杜」、信長・秀吉・家康の伝説の社寺等、堺の街を楽しく案内しています。案内ガイド募集中です。

脇 豊茂さん (1698)

健康長寿の要素に教養(今日用)がある。そこで、プールで平泳ぎ、ペタンク、パークゴルフ、ボーリング。集会所と家で健康麻雀。なんと家内と週に4日一緒。ちまちまだ。変革も思考するが今の所、私は満足である。

岩崎公誠さん (702)

5年前、外出先で心筋梗塞を発症、すぐICU入り、今もリハビリ中。三食キッチンと食べ6時間寝て毎朝「生麦・生米・生卵」と滑舌の言葉を唱える、そんな日々である。今後も平常心を忘れず歩行に杖から離れる事を願っている。

辻 満彦さん (695)

日常生活には何ら問題ないですが定期的に臓器関連の血液検査と検診を受け食物配慮と軽い散歩にて健康維持と加齢に負けぬよう努めております。年に数回、家内と共に温泉と料理を楽しむ気分転換の旅行をしています。

喜田征治さん (2797)

同好会の川柳は十年余り、腕は一向に上がりませんが一度も欠席無しが自慢。親しい仲間とのゴルフは幹事役を三つ、自分に有利なルールを作って上位を狙いますが効果はありません。目下の悩みは突然の痛風で「ビール飲むな」と医者より忠告を受けています。

岡田喜久男さん (4732)

世界中にトランプ旋風が吹いていますが岡田ワールドは至って平穏です。6年前、大病を患いましたが今はフォトクラブで諸先輩の方々と楽しく、元気に活動しています。生かされている事を実感し感謝の日々です。

社友会新入会員

2016/12月~2017/1月

所属	No.	氏名	所属	No.	氏名
本部	6559	久保 芳男	本部	6569	高橋 貞信
本部	6560	中村 眞	本部	6570	高尾 文子
東京	6561	磯貝 信行	本部	6571	林 年昭
東京	6562	丸山 量明	本部	6572	石橋 壯一
東京	6563	奥原 久之	本部	6573	古川 勝紀
東京	6564	岩澤 良治	本部	6574	二上 範之
本部	6565	吉田 訓典	本部	6575	播磨 孝子
東京	6566	磯貝 信行	本部	6576	鈴木 善治
東京	6567	斎藤 愛次郎	本部	6577	山田 喜代治
東京	6568	梶尾 強			



謝恩祭の売上げは次の通りです。

台数：240台 金額 ¥9,872,820

ご協力ありがとうございました。



編集室から

♥ 爽やかな春風を受けてお花見散歩

「春よ来い、早く来い、歩き初めたミーちゃんが♪」 幼子が外へ出たいと春を待っている可愛い童謡、私達老人組も冬の寒さは苦手、外出が減り、暖かい室内で過ごす事が多かったのではないのでしょうか？ 早く暖かくなって欲しいと思う気持ちは同じだと思のですが……

もうすぐ春分の日「暑さ寒さも彼岸まで」諺の通りお彼岸を過ぎると寒さも薄れ、過ごしやすい気候になって、陽も少しずつ長くなります。何よりも、お彼岸の前後から、誰もが待ち望んでいた桜の花が咲き、彼方此方の桜の名所は多くの人で賑わい、春本番を迎えます。

身も心も軽やかに、爽やかな春風を胸いっぱいを受けてお花見散歩で体力を維持する為にもやがて来る百花繚乱の春を楽しみましょう!! (F.N)

※ 前号の訂正とお詫び (7ページ訃報記載)

3名の方、所属、東京→本部の間違いでした。お詫び申し上げます。 万木 護様 中根 廣治様 福家 吉男様

◎同好会へのお試し参加は下記へご連絡下さい。

◎連絡先…… シャープ(株) シャープ社友会 事務局

☎ 06-6794-8850 (直)

ご冥福をお祈りします

2016/12月~ 2017/1月

所属	会員番号	お名前	享年	ご逝去日
本部	3247	榎本 和弘	72	平成28年 4月10日
栃木	3116	田中 誠	74	平成28年 7月23日
本部	2393	古塚 勝	74	平成28年11月30日
東京	4365	猪野 康一	77	平成28年12月 7日
東京	2254	森 勝彦	73	平成29年 1月 3日
東京	3497	横田 芳郎	72	平成29年 1月 7日
本部	918	土屋 次郎	80	平成29年 1月16日
栃木	338	宮本 利夫	89	平成29年 1月27日

私の今日の頃



元気は
趣味・雑用から

井上輝好さん (No. 1607)

「月日は百代の過客にして、行きかふ年も又旅人なり」これは松尾芭蕉の奥の細道の一節であります。

また中国南宋の朱熹の詩に「少年易老学難成 一寸光阴不可軽」唐劉希夷の詩に「年年歳歳 花相似 歳歳年年人不同」という一節があり、「光阴矢の如し」と言う諺もあります。

これらの言葉は若い頃とは異なり、年を経ると共に作者の心境や意味するところが理解できるようになり、「時」の流れと「世の移り変わり」の速さを実感している今日この頃であります。

■ 退職後の学生生活と地域社会への奉仕

2度目の大学生活

定年退職日の翌月から大阪教育大学美術・芸術コース書道専攻科へ科目等履修生として入学し、書道に関する理論と実習の全科目につき成績と単位を取得しました。この大学の書道専攻科は将来の書家や教師を養成する学科で、若い頃の大学生活とは異なる感覚や雰囲気の中で、実に楽しく5年間勉強出来ました。

地域社会への奉仕

定年前後から町の総代、神社総代、福祉推進委員等地域の役を仰せ付かり約15年間務めました。今はその役を後進に委ね、現在は農地利用の適正化を図る農業委員会「農地利用最適化推進委員」として又、榎原ロータリークラブの会員として活動をしています。



榎原市政功労者賞表彰式

扱、現役時代から先輩より“定年退職後は何か趣味などを持って行動しないと早く老けるゾ!”とよく言われました。

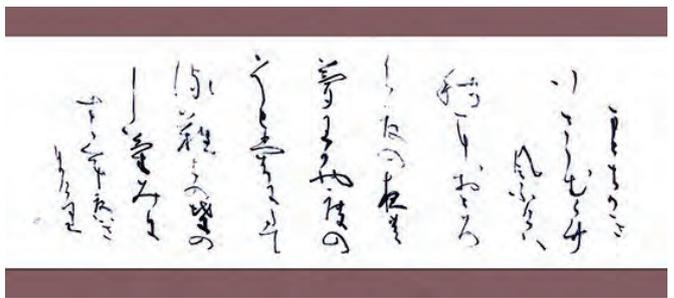
そこで私は、趣味としての書道、詩吟、ゴルフ、その他、先祖伝来の田畑に自家用の野菜や赤米(古代米)づくり、また家蔵屋敷内の整理や前栽の手入れ等の雑用を健康のためと思いやっている今日この頃です。

■ 書道

書道と言えば、社友会の同好会「おもしろ書道」ですが、これは社友会の役員会時に当時の会長蛇草實太郎様から社友会会員の中に習字を習いたい人がおられるので『あなたは大学で書道を勉強したので書道の同好会を作ってはどうか』とお言葉を頂き、世話人代表に岩崎公誠様を、そして不詳私が講師として「おもしろ書道」が発足しました。

その第1回の勉強会を平成17年4月に行い、今年3月で13年目の139回になります。「おもしろ書道」では、単に字を書くだけではなく、古典の臨書や実用書、創作などは勿論、書の歴史や書に関する諸資料等の事柄について、会員の皆さんと共に楽しく勉強しています。

会員皆さんの作品は、平成27年9月八尾市文化会館プリズムホールにて開催されたシャープ創業103周年・社友会



読売書法展出品作品 「縦2尺X横6尺」

結成35周年記念総合文化祭に出展し好評を得ました。

メンバーの数人は毎年開催される公益社団法人日本書芸院が主催する「シルバー書道展」に更に大和郡山市芸術祭に出展されています。私は「シルバー書道展」「読売書法展」「日本書芸院展」の他、社友会「創友会展」にかな部門で毎年出品しています。

■ 詩吟

大学生時代に詩吟を宗家に習っているという同級生がおり、同好会を発足させ賀城流宗家にお越し頂き、練習をしていました。

しかし早川電機工業株式会社へ入社してから定年退職まで詩吟からは遠ざかっていました。定年後学生時代の同級生が師範をしていることが分かり再度稽古を始めて、賀城流師範の免許を頂戴しました。

現在は月2回程度、単に詩を吟じるだけでなく、詩吟の歴史や理論、詩の背景、作者の意図や詩情等についてお互いに意見を出し合い勉強し、発表大会や吟道スクール等にも参加しています。

■ ゴルフ

腕前は別として、高校、大学、会社の親しい方々とのゴルフ会、ロータリークラブのゴルフ同好会等に参加しています。また年に1~2回従兄弟会と称し、夫々が所属している四つのゴルフ場で楽しんでいます。

■ 元気であることに感謝

身の回りには何時何が起こるか分らず意図せぬ用事、近所、知人、友人、親戚などの慶弔や寺、神社、町の行事等で家にじっとしている日が殆ど無いこの頃です。

これらを、こなせるのは、まだ元気であるからと感謝し、この頃、思うことは自分自身と家族が健康である事であり、その為には何事にも興味を持ち意欲的に行動する事だと思っております。私は今後も生涯 修業・元気・前進・現役をモットーに暮らしたいと思っています。

